

会 議 録

附属機関又は 会議体の名称	第三回豊島区教育ビジョン検討委員会幼児教育部会 (幼児教育のあり方検討委員会《第2次》)	
事務局(担当課)	庶務課	
開 催 日 時	令和6年6月17日(月) 16時30分～17時35分	
開催場	豊島区役所本庁舎 8階 教育委員会室	
議 題	1. 前回(5.17開催の幼児教育部会)の振り返り ◆保幼小連携について ◆幼児教育センター的機能について 2. 本区の幼児教育で目指す理念について 3. 検討会の課題について 【平成30年発行】豊島区の幼児教育のあり方検討委員会最終報告書で示された施策の検討について ◆特別な配慮を要する幼児及び外国籍の幼児への教育について	
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 0 人
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
	会議録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
		非公開・一部非公開の場合は、その理由
出席者	委員 (敬称略)	田代 幸代 箕輪 潤子 角本 史夫 山口 範子
	その他	教育部長、障害福祉サービス担当課長、子ども若者課長、子育て支援課長、子ども家庭支援センター所長、保育課長、保育政策担当課長、保育支援担当課長、庶務課長、学務課長、指導課長、教育センター所長、区立幼稚園長
	事務局	教育施策推進担当課長
欠席		区立小学校長

審 議 経 過

発 言 者	発 言 要 旨
事務局	挨拶 (議事 1 の説明)
事務局	保育施設間連携について、5 月 28 日に第 1 回目の会議があったようですのでそちらの開催の様子についてお話をお願いしたいと思います。
保育政策担当課長	<p>保育施設間の連携について、コロナ禍でなかなか保育園同士の連携が思うように進まない中、区立保育園、私立保育園、小規模保育園が連携しながら、区全体の保育の質の向上に向けて取り組んでいくことを目的に開催いたしました。</p> <p>全体会ということで区内の区立保育園と私立保育園、地域型保育所の 99 施設の園長先生に集まっていただきました。今後区内を九つのブロックに分けて、具体的な連携方法を区立保育園が中心となり、今年 12 月ぐらいまで検討していきます。</p> <p>また、12 月に発表会という形でどんな連携に向けた検討がなされたのかを具体的な連携事例を通して発表いただきたいと思っています。</p> <p>今後の連携の方向性や令和 7 年度に向けた検討に向けた仕組み作りの一環で開催しました。</p>
田代部会長	今、ご説明のあった発表会というのは 12 月から 1 月にかけて開催予定の第 4 回の全体会の場での発表ということでよろしいでしょうか？
保育政策担当課長	<p>はい。そのようになります。</p> <p>5 月 28 日にキックオフとして、地域で話し合うためにも、きっかけが欲しいというご要望をいただきましたので、全体で集まって S 先生から保育園間の連携や保幼小の連携も含めたお話をいただいて、各ブロックにて検討し、次回はいつ会いましょうなど決めていただきました。</p>
田代部会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ではそこで連携や接続の話も出たと思いますが、小学校との連携や接続について指導課の丸山委員からお願いできますか。</p>
指導課長	<p>いつも私達区立の幼稚園だと 3 園しかないのですが、今回保育園と私立幼稚園の先生が中心に開催し、会場がいっぱいになるくらいの先生たちが集まり、就学前の教育保育を支えている先生のパワーを感じました。</p> <p>先ほど発表があったように、ご質問とかご要望を率直にお伺いできたのはよかったな</p>

	<p>と思いますが、指導課として研修をやるときに、必ず保育園、私立幼稚園等すべての施設にお声掛けをして来られる場合と来られない場合がありますが、72 施設集まっているという思いがあります。</p> <p>コロナのときもオンラインを駆使して、ずっと続けてきているのですが、今回の保幼小の繋がりというところで、点が線になっていくのではないかと期待を込めています。また、ご質問にあったようなことも、だんだん距離が近近づいていくと、解決できていくのではないかなということを感じております。</p>
田代部会長	<p>ありがとうございました。こちら S 委員が講師としてご登壇されていたということですので、内容などいかがだったでしょうか、ご紹介いただければ幸いです。</p>
S 委員	<p>私がお日に講師をさせていただいてお話をさせていただきました。</p> <p>講演の内容も踏まえて先生方にいろいろアイデアを出していただいているのですが、やはり先生たちも保育園の質を向上させたいと考えていて、自園のことだけではなくて他園のことを知りたいというご要望がとても多かったように思います。</p> <p>具体的に出てきたアイデアでは、例えば年齢別の交流で 3 歳児なら 3 歳児の先生同士で集まることやお互いの園に施設見学に行くことなどがあり、施設見学については約束もされて、実際にもう既に施設を見学された地域の方もいらっしゃるようです。それから実際にイベント的にやるのは難しいかもしれないが、公園とかそういった場所に行って子供たちが会ったときに、子供同士の交流ができたというような話が出ていました。</p> <p>例えば、近くの公園で待ち合わせて一緒に何かドッジボール大会やったり、先生同士で共通する地区の公園付近におけるヒヤリハットとか不審者のマップを作ったりすることで情報共有できるといいのではないかなという話がありました。</p> <p>また、顔見知りを作っておくこと自体が安心感にも繋がるという話がありました。特に災害時に協力し合える関係があると、何かあったときにこの園に行けば助けてもらえることができるだろうとそういった意味でも交流の必要性が語られていました。</p> <p>それから、保育園ならではのところかと思うのですが、例えば看護師や調理師、保育士以外の専門職同士での繋がりということもやはり必要だという話もあり、そういった交流もこれからしていこうということが語られていました。</p> <p>小学校に関しては、小学校との交流・連携をしたくて学校に連絡をしたが、断られてしまい、がっかりしてしまった、どうしたらいいだろうという話もありました。ただ、小学校は本当にたくさんの園から子供が来るという現状もあるので、やはり公立幼稚園が一つの窓口となり、連絡や調整をしていくことも必要ではないかと思えますし、小学生との交流や小学校の先生と一緒に学ぶ機会も、やはり求められていたように思います。</p> <p>さらに今は準備中かもしれませんが、学校との連携を秋になったらやってみたいと考えていて、学校へ声をかけてみようと思っているという話もありました。</p> <p>ただ、どういうふうに声をかけたらいいかというところは、保育園の先生、特に私立の園の先生にとっては課題になる部分があるようです。そういった情報が小学校や教育委員会からもらえるとより良いのではないかなと思いました。</p> <p>また、まず園長先生同士で繋がるということが、どのグループからも出ていたように思いますので、できることからスタートしていくと良いのではないかなと思っています。</p> <p>今までの話を踏まえて、可能であれば、保育施設や幼児教育施設は、幼稚園と保育園</p>

	<p>で違いますが、教育の部分や年齢の部分では同じですので、特に小学校との連携や公立幼稚園、私立幼稚園との連携・交流ができる機会があるといいと思います。</p> <p>また保育の質や幼児教育の質が高まるような機会を設けて交流することで、様々な疑問も出てくるかと思いますが、そういった疑問を交流し話し合うことで自分たちの園の保育を振り返っていくことに繋がります。毎回は難しくても私立公立幼保両方が交流できる機会があるといいのではないかなと感じました。</p> <p>以上です。</p>
田代部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>1 回目のキックオフの会があったことによってすごくたくさんのことが動き始めている様子をご報告からわかりました。</p> <p>その会に出席されていた C 委員お願いいたします。</p>
C 委員	<p>S 先生もおっしゃいましたが、9 地区にわかれてそれぞれの地区で交流することができました。</p> <p>公立保育園の先生が中心となったお話ですが、「年長交流したい」や「看護師が園に 1 人しかいないという悩み」をお互いに打ち明けたり、感染症などの対策を情報共有したりすることでレベルアップした安全対策にもなるのではないかなというお話がありました。</p> <p>西巣鴨地区は、公立保育園が未満児の公開日を週 1 回設けていますので、2 歳までの低年齢児だけの保育園も外に出ることができるということで大変ありがたいお話も伺いました。これからそういった交流をしながら、より保育内容の質が向上できるように行ってまいりたいと思います。</p> <p>また他の地区では小学校でプールのヤゴ救出大作戦というものに参加させていただいたというお話も伺いました。私立の方も小学校と連携するそんなアイデアをいただいたことでもありましたので、公立幼稚園、私立保育園、幼稚園も含めていろいろな資質向上に繋がればいいかなと思っています。</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
Z 委員	<p>前回も確認していただいたところなのですが、今回のこの会は、多分私立幼稚園には声がかかっていないのですね。</p> <p>ですから先ほど私立幼稚園というお話が丸山委員から出たので、今後は必ず私立幼稚園にも、ぜひ声をかけていただけると嬉しいなと思っています。</p>
田代部会長	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>令和 6 年度のスケジュール案を見ますと 5 月 28 日は保育課が担当ということなのできっとそういうことなのかなと思いながら拝見しております。</p> <p>9 月 20 日は指導課が担当ということになりますのでこちらは参加対象が区立・私立どちらの幼稚園にもお声がかかるのではないかなと思っています。</p> <p>保育課が主催だったり指導課だったり、両方ご一緒だったりいろいろ模索しながら、区全体でどの教育施設や保育施設に通っていてもその先生方や子供たちも含めて、区全体の教育・保育がレベルアップしていく方向に進んでいかれたらいいなと思っています。</p> <p>またいろいろなアイデアが実践されている園の様子を共有することで、園同士の連携が進んでいくことを望んでおります。</p> <p>事務局の方からは何かございますか。</p>

事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 要所連携というところと教育センター的な機能というところで皆様のご意見を踏まえまして、前向きに検討を進めていきたいと思っております。</p> <p>(議事 2 の説明)</p>
田代部会長	<p>ありがとうございました。 様々な状況のご報告、そしてデータのご提示ありがとうございます。 このような状況を踏まえて、幼児期にどのような子供たちを育てていくべきなのか、この場で意見交換を少しさせていただければと思います。 まず S 先生いかがでしょうか？</p>
S 委員	<p>ご説明ありがとうございます。 まずご質問なのですが、目指す姿を三つ挙げていただいています、その三つになっている背景や、何か出された理由があったら教えてください。 また、これに関連して、先ほど教育大綱素案よりということでしたが、今あるものの中で、目指す子供像というのが過去の資料の中にもございまして、そこにも 3 点記されているところがあります。そちらとの関係も教えてもらえるとありがたいです。</p>
事務局	<p>資料の 3 ページ目で、No.1.2.3 となっていますが、こちらの No.1 に横引く形で単純に、整理をさせていただいております。 例えばこの No.1 が二つに分かれたり、必ずしも三つに限定しなくてもよかったりというふうに思っているところがございます。No.2 の中でまた枝わかれて二つになることもあれば、この No.1.2.3 以外にも、こういった要素も必要なんじゃないかというところがありましたら、そういった要素も入れていきたいと考えているところがございます。</p> <p>平成 30 年の「豊島区の幼児教育のあり方検討委員会最終報告書」に目指す子供像とありますが、こちらは教育ビジョン 2019 の内容がこちらに載っているという形になっています。 教育ビジョンも今改定を進めているところがございますので、教育ビジョンは教育ビジョンでまたこういったものが新たに定まってくると思っております。</p>
田代部会長	<p>そうすると今の真ん中に出ている豊島区の目指す幼児教育の理念というところに目指す子供像が入ってきていたり、下に教育大綱の素案から No.1No.2No.3 が入ってきたり、その両方がこの黄色い部分に入っているというイメージでしょうか。</p>
事務局	<p>最終的には黄色い部分にこの豊島区のイメージの一番右の部分が入っていくようなものをイメージしております。</p>
田代部会長	<p>ではご質問の返答を踏まえて、何か豊島区の目指す幼児教育の理念でこういうものが大事なのではないかということについて一つでも二つでもご意見いただければありがたいです。</p>
S 委員	<p>理念って本当に大事なものでいろいろな方の意見を伺ってから作ってほしいと思っています。 丁寧にご検討いただきたいと思いますが、一つは先ほどご報告いただいた外国籍のお子さんが多いことや、支援の必要なお子さんが増えてきていることなどから、そういった多様な人たちと一緒に生きていく体験やいろいろな人に関わって体験を深めていくようなそういった機会を子供に提供できるというふうには思っています。 やはり最近、人との関わりというところで、お子さんの数も減っていることもあり、小規模の園では特に 4 歳 5 歳くらいになったときに集団で、お遊びを楽しめるようになりたいというような話も出ています。</p>

	<p>そういったときに、地域の様々な方に出会う経験や豊島区の歴史的なものや新しい文化に触れて、経験・体験をすることで豊かさに繋がっていくというイメージが入るといいのではないかと考えています。</p> <p>もう 1 点ですが、教育大綱の中で元気でたくましい子供とある点で、子供たちの体力や健康はすごく大事だという認識がある一方で、今医療的なケアが必要なお子さんや、元気でいたくてもいられないお子さんをどういうふうと考えて、この理念を作っていくといいのかというところは悩むところだなと思っていますのでその辺も考えていただけたらと思います。</p>
田代部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他の委員の先生方からもご意見頂戴できればと思いますけれども高橋委員はいかがでしょう？</p>
区立幼稚園長	<p>S 先生のお話を聞きながら、普段保育していて本当にそういうことだと思いました。区立幼稚園でいうと 3 園それぞれ地域の良さがあって、地域を愛する子供を育てることはすごく大切ですし、多様性を認めて一緒に生活を作っていくところはすごく大切にしたいと思っています。</p>
Z 委員	<p>漠然とした考え方ですが、例えば地域を愛するというのを挙げて、むしろ子供たちがたくさん愛されてくるとその地域を愛するようになると思います。</p> <p>そのため、1 人 1 人が大切にされていけば、多様性も大切にされていき、多様性が他の人に受け入れられるようになっていくし、自分が大事であると子供が思ってくれば変わってくる部分がすごく多いのではないかなと思うのですね。</p> <p>ただやはり 5 歳児ぐらいになると集団性というのがすごく大切になってきて、集団との関わりの中で他者を感じるようになり、みんなと協力したり、みんなが自分と意見が違ったりとか、いろんなことを考えていく中で出てくると思うので、1 人 1 人が大切にされるのと同時に、他の子を意識できるといいのではないかと考えています。</p> <p>また、先ほどの S 先生と同じで元気というのが本当に今のキーワードでいいのだろうかということがすごく気になっています。元気な子もたくさんいて、元気も大切かもしれないですが、穏やかさや安心感、温かさなど、そういうものも同時に大切にされていくと嬉しいなと感じています。</p>
田代部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今、元気にとか地域の話とかいろいろ出てまいりましたけれども、やっぱりその子らしさとかその子らしく生きていくことを大事にされるのがすごく大事なのかなと思いつつながらお話を伺っておりました。</p> <p>また体の元気とか体力とかそういう面もあるのですが、いじめの問題ですとか、いろいろ相談にかかる件数ですとかそういった現状も踏まえすと、やはり子供たちの心が健やかに育つという部分も幼児教育の中で大事にしていきたいなと思うところがございます。</p> <p>1 人 1 人が大切にされ 1 人 1 人の特性を活かして、その子らしく心と体が健やかに育っていくということを、幼児期に大切にしたいと思います。</p> <p>また、幼児期には幼児期にふさわしい学び方というのがあります。いろいろなことを身近な大人から教え込まれるというような教育方法は合っていないわけです。</p> <p>子供たちが主体的に自分の好きなことにどんどんチャレンジし、主体的な遊びを通して学ぶ中で、友達と力を合わせることもだったり、いろいろな意見があることを知ったり、それから同じクラスの中にいろいろな国籍の子供たちがいたり、いろいろな育ちの子供たちがいたり、そういう子供たちと一緒にどう生活を作っていくのかということ、そうした主体的な遊びを大事にした生活の中で子供自身が気づき知っていく教育を豊島区で実現していけたらいいなと感じながらお話を伺っておりました。</p> <p>最後に、基本的な生活習慣も乳幼児期はすごく大事で、そういうところが自立していくということで人とも関わる力も湧いてきますし、いろいろな物事にチャレンジしたり好</p>

	<p>きな事柄に集中したりすることに繋がっていくので、やはり心身が自立していくこともとても大事であると思っております。</p>
庶務課長	<p>現在、庶務課が中心になって教育大綱を策定しております、この教育大綱の目指すこどもの姿は 3 つあります。最終的に区長がこういった子供を作りたいというところの 3 つですが、その 3 つ以外にも各 4 つの方針があってさらにその下に細かい取組み内容を記載しています。</p> <p>今回はお示しできなかったのですが、次回改めて教育大綱の中身全体を見ていただいて、その上で幼児教育の目指す理念について、ご議論いただければと思います。この 3 つ以外の細かいところについて触れている部分もありますので、そこを踏まえた上でご検討いただければと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
田代部会長	<p>今話題になっているところはとても大事な部分ではないかと思っておりますので、そのような資料があるのであればまたこの皆さんで共有させていただきながらもう一度お時間取れたらいいかなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>この資料の中のイメージ図の中で、豊島区の目指す幼児教育の理念を皆様で検討していった場合、これを区内の幼稚園や保育所、こども園も含めた全ての保育教育施設で共有していくためには、プログラム化されたような目に見えるような資料になっていることが必要な気がします。</p> <p>例えば世田谷区ですとコンパスという指針でまとまっていたりですとか、中野区ですとガイドラインのようなものを作っていたりしているので豊島区のももそのようなものをご検討いただけたらと思います。</p>
事務局	<p>まさに世田谷区の取組について勉強させていただいている中でコンパスという指針が定まっております、豊島区でも過去に 1 度検討していたことはあったようですが、発表するには至っていない現実がございますので、引き続きこども家庭部と連携しながら、指針や方針の作成を検討していきたいと思っております。</p>
田代部会長	<p>様々なご意見をありがとうございました。</p> <p>本日はいただいたご意見を踏まえ、改めて本区の幼児教育で行う理念を検討していかれたらと思います。</p> <p>それでは議題の 3 特別な配慮を要する幼児および外国籍の幼稚園の教育についてご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(議事 3 の説明)</p>
田代部会長	<p>資料のまとめ、それからご説明ありがとうございました。</p> <p>公立幼稚園における外国籍の子供たちそれから配慮が必要な子供たち割合が増えていくということがわかりました。</p> <p>実際保育園さんではいかがですかね。</p> <p>C 委員の園などではいかがでしょうか？</p>
C 委員	<p>配慮児は毎年どのクラスにも在籍しておりますので、要支援というところでは、その援助を受け入れる保育士の研修は大変重要になってきています。</p> <p>それから地域的にも外国人の方が非常に多く、言葉の発達や保護者の方との連携、伝え方が課題となっています。</p>
田代部会長	<p>例えば、保護者の方とやり取りするときに何かツールの使用など工夫されていることはありますか。</p>

C 委員	<p>どの保育園もそこが大変でいろいろ悩むところではありますが、今 ICT 化になっている保育園がほとんどですので、ポケットクなどの翻訳ソフトを使っているところもあれば、ひらがなで全てお手紙を書き換えたり、保育士が園のしおりを外国人用に別で作っていたりしています。重要事項説明についても説明するのが大変で苦労しているところではあります。</p>
S 委員	<p>今外国籍のお子さんが増えているというお話もありましたが、区としてインクルーシブ教育の推進とは何か書いていますが、ここがすごく大事ではないかというふうに思っています。</p> <p>例えば区立幼稚園では、外国籍のお子さんがたくさんいらっしゃったり、特別な配慮が必要なお子さんを受け入れたり、途中入園したり様々なお子さんの受け入れが多いと思います。</p> <p>それが区立幼稚園の一つの役割であり、お子さんへの教育保育という幼児教育がもし幼児教育センターができれば生かされる部分であると思います。</p> <p>一方で、インクルーシブ教育や幼児教育、小学校以降の教育も、区全体でどういうふうに考えていくのかというところは、先ほどの幼保小の連携接続というところとも関わってくると思います。</p> <p>特に幼稚園や保育園で様々な子供が受け入れられている部分が小学校に行ったらどのように繋がっていくのかというところとも大きく関わってくるので、外国籍のお子さんや、特別な配慮を要するお子さんが増えてきているというところで、一度これを機にしっかりと考えていく必要があると感じています。</p> <p>また、公立幼稚園だけではなくて私立幼稚園の方も受け入れをたくさんしてくださっていると思いますので、そういった私立幼稚園での工夫を含めて区全体で考えていけるといいのではないかなというふうに思いました。</p>
田代部会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>発達の配慮が必要なお子さんに対して例えば巡回で相談に回ってこられる専門の先生がいらっしゃるのかそういうところのご配慮いただいていると思いますが、外国籍のお子様に関してもそういった第 1 言語の通訳の方がつくなど、区として基準やサポート体制のようなものはありますでしょうか？</p>
事務局	<p>外国籍の園児に対しては、巡回して日本語指導を行うなどは、現状行っていません。ただ小学校では、そういった取組を行っておりますので、そこは一つ今後の課題というふうに認識しています。</p> <p>何か補足があればお願いします。</p>
区立幼稚園長	<p>幼稚園は通訳さんをつけてもらっています。</p> <p>幼稚園が実際に使っているのは遠足行く前の事前指導やプールの安全指導、小学校に接続するときなど通訳さんお願いをして子供と保護者をサポートしてもらっています。</p> <p>幼稚園で実際に困ったことは、通訳は幼児教育センターでお願いできますが、その制度を使えるのは入園してからで入園前は使えないということです。</p> <p>この間これまでに入園がなかった国のお子さんが入ってくる時に、言語がわからず翻訳ソフトを使おうにも言語も少なく、通訳を頼もうと思いましたが、入園前は頼めないとのことだったので、生まれてからサポートが受けられるたらいいなと思いました。</p>
田代部会長	<p>一部そういうサービスもあるけれどもなかなか難しく十分に足りてないところもあるのではないかと思います。</p> <p>本当に配慮が必要なお子さんに対しては、現場の先生方が心を砕いて工夫をして研鑽を積まれていろいろな対応をしてくださっているところだと思います。</p> <p>それは公立も私立も関係なく保育所も幼稚園もこども園も目の前にそうした子供たちがいれば、先生方は一生懸命向き合ってくださっているとは思いますが、そういったところでどういうサポートができるか、また、どういう配慮が必要か区としても考えていく必要があるのではないかと思います。</p>

	<p>少し延びてしまいましたけれども本日の議題は以上となります。 皆様本日はありがとうございました。</p>
--	--